

# ながくて ぎがいたいむ

No.113



P02~07 特集

平成31年度一般会計予算 ほか

総務・教育福祉・くらし建設委員会 … 08~09

代表質問・個人質問 …………… 10~20

議案審議状況(○×表) …………… 21

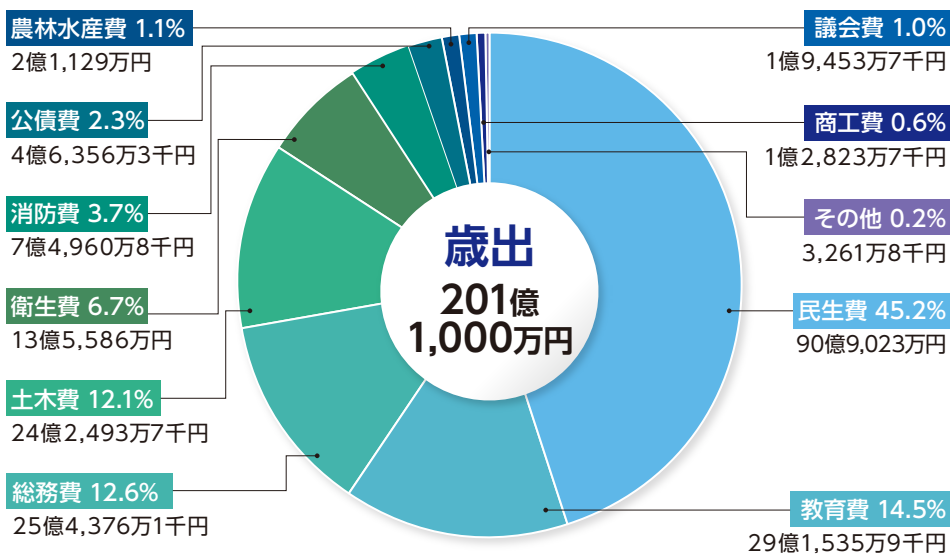
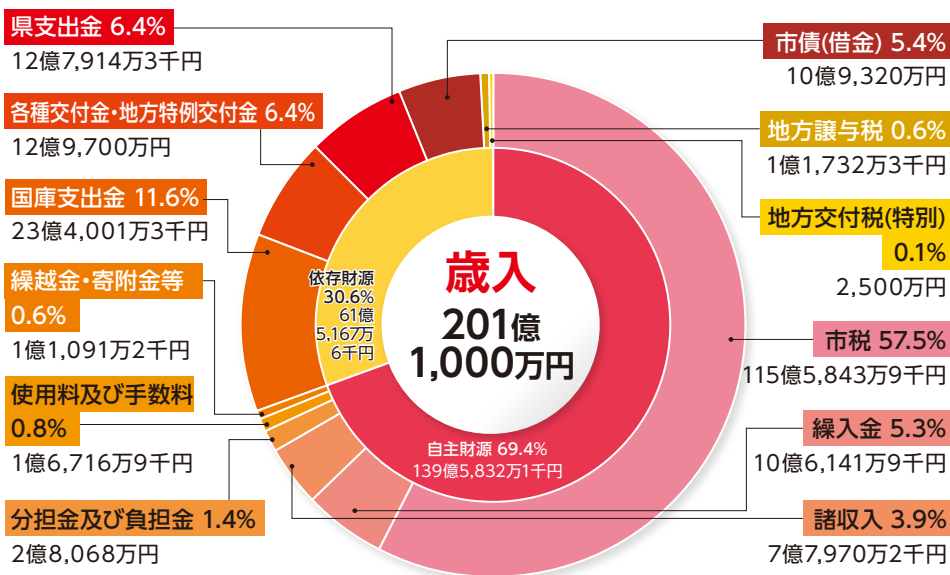
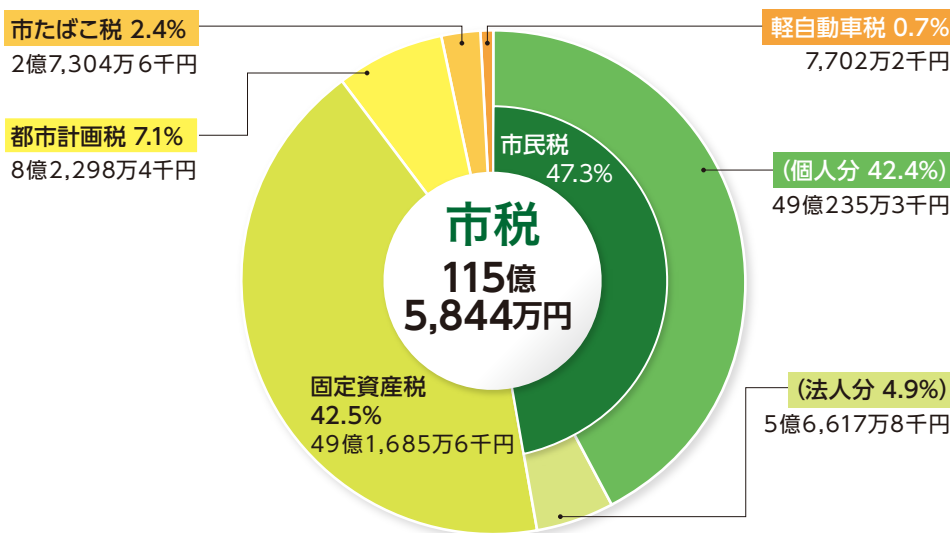
# NAGAKUTE

# 平成31年度一般会計予算 201億1000万円を可決

3月14日、予算決算委員会を開催し、採決を行いました。委員は、議長を除く全議員です。

これまで予算及び決算の審査はその都度設置する特別委員会で行っていましたが、今議会から予算決算委員会としました。予算決算委員会に付託された「平成31年度一般会計予算」はじめ13議案を総務分科会、教育福祉分科会、くらし建設分科会に送付し、審査しました。

5月からは、常任委員会を再編し、予算決算委員会は総務くらし建設分科会と教育福祉分科会に送付して審査することになります。



※表示数値未満四捨五入のため、積上げと合計が合わない場合があります。

## 総務分科会

### ■ 収納課

**Q** 愛知県豊田尾張東部地方税滞納整理機構は、いつまで継続するのか。

**A** 滞納整理機構は、2回の期間延長を経て平成31年度までの設置である。その後については県の支援を要請するが、近隣市と滞納整理機構の延長か、単独または共同事務など別の形がよいのか近隣市とも相談したい。

### ■ 行政課

**Q** 広島平和体験学習の中学生派遣は、平和記念式典に出席できないか。

**A** 式典当日でなく、夏休み期間の派遣を予定している。



### ■ 財政課

**Q** ふるさと納税の返礼品は、どのような取り組みを考えているか。

**A** 長久手温泉アグリ事業部、観光交流協会などと協力し、独自の返礼品を検討している。

### ■ 人事課

**Q** 時間外勤務手当を前年度比41.6%増の計上とした要因は何か。

**A** 統一地方選挙、市長選挙などの時間外勤務の増加が予測されるためである。

### ■ 経営企画課

**Q** みんなでつくるまち条例啓発事業費として、3,000円の図書カード5人分が計上されているが、どのようなことを行うのか。

**A** 条例の趣旨に沿いまちづくりの参加意義、地域の支え合い、つながりなどをテーマに4コマ漫画を募集し、誰でも応募できるようにしたいと考えている。

### ■ 市民課

**Q** 住民票等のコンビニ交付のためにはマイナンバーカードが必要だが、マイナンバーカードの交付率とコンビニ交付の実績はどのようか。

**A** マイナンバーカードは、平成31年2月5日までに7,748枚交付。交付率は13.2%と愛知県で3番目である。コンビニ交付は、平成31年1月末現在で841枚となり、平成30年度に比べ300枚ほど利用が増えている。

### ■ 情報課

**Q** ペーパーレス会議システムの運用状況と今後の予定はどのようか。

**A** 幹部職員の会議のほか、平成30年度から入札参加者指名審査会、後援名義使用審査会に拡大した。平成31年度も活用する場を拡大したい。

## 教育福祉分科会

### ■ 保険医療課

**Q** 子ども医療費支給事業の受給者は増加しているか。

**A** 平成31年度は約1.7%増の11,261人を見込んでいる。

### ■ 教育総務課

**Q** 教職員勤怠管理システムの内容と導入目的は何か。

**A** 教員の出退勤の時間を管理できるシステムである。勤務負担の軽減、勤務時間の適切な把握が目的である。

## 子育て支援課

**Q** 上郷保育園等移転新築工事は、基本構想時に建設費約14億円であったのが平成31年度予算では約10億8,000万円である。縮減された理由は何か。

**A** 基本構想策定時の建設費約14億円は、3棟での計画で、近隣の坪単価から概算したものである。その後3棟から2棟に変更したこと、南小学校多目的棟の実績を加味したことにより10億8,000万円の積算となった。



農村環境改善センターグラウンドに移転新築予定

## 福祉施策課

**Q** 各小学校区にCSWが配置されるとのことだが、地域福祉計画に基づく地区社会福祉協議会の設置見込みはどのようなか。

**A** 東小校区、長久手小校区は地区社会福祉協議会が未設置のため、平成31年度に本格的に取り組んでいきたい。

## 長寿課

**Q** 高齢者等移動支援事業委託(N-タク)について、実証実験の期間や時期をどのように考えているか。また、平成30年度は3台で実施したが、平成31年度は何台の予定か。

**A** 実証実験は、平成31年度の上半期に3カ月を想定している。2台で調整する予定であるが、条件は関係課や専門家の意見を聞きながら決めていきたい。



## 健康推進課

**Q** 公立陶生病院組合負担金の増額は、解体する中央棟及び外来棟のアスベスト撤去費用が要因とのことだが、今後は人口構成比、患者構成比による負担割合で決定するのか。

**A** 平成32年度以降の負担金は、構成3市と公立陶生病院とで協議していく。新病棟建設費及び解体費は平成30年度までの負担金に含まれている。

## くらし建設分科会

### 土木課

**Q** 県道道路緑化整備工事の内容で、過去の工事では街路樹の生育不良があった。再発防止策は何か。

**A** 生育不良の木の撤去及び土壌調査を実施し、原因である強雑草部分を除去し土壌を改良した。

**Q** 今後の維持管理費はどれくらいか。

**A** 整備完了後は年間1,380万円と想定している。



### 都市計画課

**Q** 住宅耐震改修費等補助金は何件分か。

**A** 上限100万円で7件分である。

### みどりの推進課

**Q** あぐりん村改修事業委託で増築とした理由は何か。

**A** 生産者から産直施設の置き場が少ないとの意見があったためである。東側に同規模の建物を増築し、2倍程度の広さとする。

## ■ たつせがある課

**Q** まちづくり事業交付金について、まちづくり協議会の活動を明確に評価できる基準はあるか。また、公平な予算措置はできているか。

**A** 試行錯誤しながら事業を進めており、評価基準を取り入れられる段階ではない。一定期間後に評価基準を設けていく必要がある。交付金は地域ごとにおおむね500万円という考え方である。自治会連合会がない西小学校区は、まちづくり協議会にまちづくり事業交付金を500万円、まちづくり協議会及び自治会連合会の両方がある市が洞小学校区は、まちづくり事業交付金とコミュニティ活動事業補助金をあわせて500万円の支出を予定しており、地域格差がないようにする。

## ■ 生涯学習課

**Q** 文化財古民家詳細調査委託及び文化財古民家整備方針策定委託の業者を選定する時期と選定方法はどのようなか。

**A** 文化財古民家詳細調査委託は、専門性の高い知識と技術を有している業者を専門家と相談しながら選定したい。文化財古民家整備方針策定委託は、文化財の保存活用計画を策定した実績のある業者の中から指名競争入札で選定する。



## ■ 安心安全課

**Q** 小中学校に個別受信機を新規導入するのはなぜか。

**A** 緊急情報を速達するため職員室等に個別受信機を設置して防災行政無線の機能を補完する。

**Q** 平成30年第4回定例会で「N-バスの有料化を考えなくてはならない中、市オリジナルの敬老パスやICカード付与の効果、費用を検証する必要がある」との答弁への見解はどのようなか。

**A** 新たなサービスを提供するには既存サービスの見直しが必要で、N-バス再編や有料化、敬老パスが市オリジナルのものになるかも含めて、公共交通体系を平成32年度に検討していく。



## ■ 環境課

**Q** ニノ池湿地群等保全管理計画の作成はどのように行うか。

**A** 市民団体、市、学識経験者がニノ池湿地群の各湿地における今後の保全方法、スケジュール等を協議し、保全活動の計画を作成する。



### 反対討論

- 児童発達支援センターの建設設計等、評価できる点もあるが、10月の消費税増税を前提とした予算であり、市民要望の多い18歳までの子どもの医療費無料化や保育料の値下げ、教育費や税金の負担軽減等、自治体が行うべき所得の再配分には着手していない。市民の暮らし第一の予算にすべきである。



### 賛成討論

- 市の申請ミスによって発生してしまう民生委員の欠員区に対するフォローの体制づくり、また、児童発達支援センターの整備と運営に対する懸念、また、まちづくり協議会などに対して1小学校区500万円としていた上限を超えた交付金など指摘のあった点に留意して予算執行することを要望する。

採決の結果、賛成多数にて原案のとおり可決

## 一般会計補正予算 特別会計予算等

### 平成30年度一般会計補正予算 (第7号)

#### 総務分科会

**Q** 個人市民税1億3,254万6,000円減額の要因は何か。

**A** 平成29年度は株式や不動産などによる高額納税者が多かったが、同様の見込みがなく所得割を下方修正する。均等割は、納税義務者が見込みほど増えず減額する。

**Q** 歳入の基金繰入金の減額と歳出の基金積立金の関係はどのようなか。

**A** 財政調整基金は執行残など、公共施設等整備基金は工事費の減額などがあり、減額補正する。歳出の基金積立金は、公共施設等整備基金、土地開発基金それぞれに1億円を追加積立とする。

#### 教育福祉分科会

**Q** 障がい者自立支援事業は平成30年度から相談支援員を増員するとのことだったが、減額の要因は何か。

**A** 増員する予定だった相談支援員を雇用することができなかったため、1人分を減額している。

#### くらし建設分科会

**Q** まちづくり事業交付金の減額はなぜか。

**A** 青色回転灯付きパトロールカーの購入を見合わせたためである。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決

## 教育福祉分科会

### 平成31年度国民健康保険特別会計予算

**Q** 高額療養費が増加している要因を分析しているか。

**A** 1カ月あたり100万円を超えるレセプトが平成29年度は約200件、平成30年度は平成31年1月までで199件と増加傾向にある。がんや糖尿病など高額な医療費がかかる病気が増えている。

**Q** 健診結果提供謝礼の趣旨はどのようなか。

**A** 自己負担で健診を受けた方が健診結果を市に提供した際に支払う謝礼である。市の受診率に影響し、健診結果によっては保健指導をしていきたい。

採決の結果、賛成多数にて原案のとおり可決

### 平成31年度後期高齢者医療特別会計予算

**Q** 平成31年4月から保険料の軽減特例が段階的に廃止されると聞いているが、9割軽減世帯で年金収入80万円以下の方の負担額はどのように変わるのか。

**A** 平成31年度から8割軽減となるため、軽減後の均等割が1人あたり4,500円から9,000円になる。

採決の結果、賛成多数にて原案のとおり可決

### 平成31年度介護保険特別会計予算

**Q** 生活支援体制整備委託の内容はどのようなか。

**A** 生活支援コーディネーターを市内全域担当として1人、各地域包括支援センター圏域担当として2人配置し、生活支援サポーターの養成やサロン等の情報を集めた冊子の配布等行う事業である。

採決の結果、賛成多数にて原案のとおり可決

## 平成30年度介護保険特別会計補正予算(第3号)

**Q** 居宅介護サービス給付費が減額されているが、要因は何か。

**A** 介護保険事業計画書を基に予算計上したが、執行見込額が通所介護は約2,000万円の残額、訪問看護は約1,500万円の残額となるため減額補正した。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決

## くらし建設分科会

## 平成31年度卯塚墓園事業特別会計予算

**Q** 第2期工事でシンボルツリーを何百万円もかけて設置する必要はあるのか。必要性を検討したらどうか。

**A** 樹木葬であるため、植栽は必要であるが、それがシンボルツリーである必要があるか検討していく。

**Q** 委託料、施設管理委託はどのような内容で、どこに委託するのか。

**A** 除草作業をシルバー人材センターに委託し、卯塚墓園維持管理委託として、卯塚緑地公園協会に委託する。維持管理業務である警備費は警備会社へ委託予定である。



採決の結果、賛成多数にて原案のとおり可決

## 平成31年度公園西駅周辺土地区画整理事業特別会計予算

**Q** 区画整理関連事業の環境配慮型まちづくり施策検証業務委託の費用対効果はあるか。

**A** ヒートアイランドの緩和を目的に遮熱舗装の効果を計測する。750万円で検証し、市内に展開していきたい。

**Q** 750万円は環境配慮型まちづくりメニューの「導入方策8項目」を転換するものか。

**A** よりふさわしいものがあれば取り組んでいく。

図表 4-4 導入方策一覧

環境配慮型 まちづくりメニュー 導入の方向性	導入方策	目標との関係			
		1	2	3	4
水・緑・風への配慮	1. エリア全体での積極的な緑化の推進	○	○		○
	2. 緑と水にあふれる特徴的な公共空間デザインコンペの実施	○	○	○	○
エネルギー利用に関する配慮	3. 公共交通機関の積極的な利用の推進			○	
	4. 環境配慮型基盤整備の実施	○	○	○	○
	5. 環境配慮型住宅ガイドラインの策定	○		○	
	6. 環境配慮型先導住宅街区の構築	○	○	○	
	7. 環境配慮に対する高い取組内容を提案する事業者の選定	○		○	
日常生活・行動に関する配慮	8. 住民全体のエリアマネジメント組織の形成・運用	○	○		○

採決の結果、賛成多数にて原案のとおり可決

## 平成31年度下水道事業会計予算

**Q** 長寿命化事業で更新するものは何か。

**A** 平成30年度に引き続き浄化センターの電気設備を更新し、建物の耐震工事、汚水関係のフィルターの取り替えを行う。

**Q** 下水道工事の業者は指名競争入札で選定するのか。

**A** 市は下水道事業団に発注し、事業団が入札を行う。

採決の結果、賛成多数にて原案のとおり可決

# 総務 委員会

## 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

**Q** 今も残業が多い状況で月45時間の上限時間を順守できるか。

**A** 職員の協力体制、外部委託などが必要と考える。

**採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決**

## 第6次総合計画基本構想

**Q** 物語を基本構想に盛り込む必要性はあるのか。

**A** 物語は目指すべき姿のイメージや親しみやすさがある。物語を市民の議論のスタートにし、市民主体のまちづくりを推進する重要なツールとし、基本目標と物語を政策のセットで記載することが重要である。

**Q** 市民の想いは、物語にどう反映しているか。

**A** 総合計画策定に係る市民の意見を「みんなの想い集」としてまとめた。その意見を踏まえ、事務局が作成した物語に対する意見を再考し、7つの分野の物語として整理した。

**Q** 物語にあり、政策にないなど不整合があるが、どのように作成したのか。

**A** 全ての政策を物語に反映していないが、おおむねの要素は読み取れるよう整理した。

**Q** 物語を理想と言うなら、理想論でまちの将来を決めるのは

**委員長** なかじま 和代

**副委員長** 木村 さゆり

上田 大 さとう ゆみ

岡崎 つよし 川合 保生

非常に危険である。しかし、理想の標準的な形として、市民が幸せになるための物語としなければ計画にならない。理想に走りすぎると現実とかけ離れてしまうことを懸念するがどうか。

**A** 市民それぞれに多様な考え方があり、それを否定するのではなく議論のスタートとするために物語を記載した。目指すべき姿を物語として伝えることで市民は自ら考えるきっかけとし、行動する。市は市民と協働し、支援することが必要であり、この先10年は基本構想に基づき行政運営したい。

### 反対討論

市の使命は立場の弱い人を支えることでもあり、理想の姿である物語を今後10年の行財政運営の中心とすることはふさわしくない。市の最上位計画として物語は議決になじまいと考える。

**採決の結果、賛成多数にて原案のとおり可決**



基本構想のながくて未来の物語

# 教育福祉 委員会

## 長久手小学校亜炭鉱空洞充填工事請負契約の変更

### 契約金額

変更前 1億4,040万円

変更後 1億2,520万3,320円

**Q** 体育館北側に観測孔が集中しているのはなぜか。

**A** 工事着手後に個人所有の井戸が発見された敷地北側と、想定より空洞が広範囲であった敷地西側の2カ所に観測孔を追加したからである。

**Q** 契約金額が減額となった要因は、想定より亜炭鉱が少なかったということか。

**A** そのとおりである。

**採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決**

## 子ども・子育て会議条例の一部改正

**Q** 子ども未来課の体制はどのようか。

**A** 保育係、児童係、施設係で構成する。児童係は児童館・放課後児童クラブ・放課後子ども教室・交通児童遊園に関すること、施設係は児童福祉施設の整備等や農村環境改善センターに関することを担当する。

**Q** 子ども・子育て会議の担当課を福祉部子育て支援課から子ども部子ども未来課に変更することのだが、会議は年に



委員長 山田 かずひこ

副委員長 林 みすず

大島 令子 佐野 尚人  
伊藤 祐司 加藤 和男

何回開催するのか。

**A** 通常は年3回の開催であるが、平成31年度は子ども・子育て支援事業計画の改定年のため年4回の開催予定である。

**採決の結果、賛成全員にて  
原案のとおり可決**

## 国民健康保険税条例の一部改正

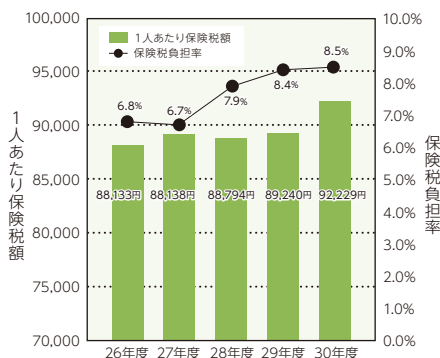
**Q** 国保被保険者1人あたりの調定額が約6,500円増加するが、最も変動が大きい所得階層はどこか。

**A** 中間層と呼ばれる所得が300万円を超える世帯である。

**Q** 所得400万円、夫婦、子ども2人の世帯の場合、国保税とサラリーマン等が加入する協会けんぽの保険料の差はいくらか。

**A** 平成30年度の試算では、国保税の方が約6万6,500円高くなる。

**採決の結果、賛成多数にて  
原案のとおり可決**



国保一人あたり保険税額の推移  
国保運営協議会資料より

3 月 定 例 会

# くらし建設 委員会

## 卯塚墓園事業基金の設置 及び管理に関する条例の 制定

**Q** 基金設置の結果、多くの一般会計予算が基金に借り入れされる懸念があるが見込みはどうか。

**A** 従来は一般会計を経由するため、いくら税投入したか分かりづらくなっていたが、剰余金を特別会計から直接基金に積み立てできるようにして、収支を明確にすることが基金設置の目的である。

**Q** 卯塚墓園事業の剰余金が含まれている公共施設等整備基金から卯塚墓園事業基金に繰り入れるのか。

**A** 条例制定後に補正予算で繰り入れる。

**Q** 基金に繰り入れできる額はいくらか。

**A** 公共施設整備基金内にある卯塚墓園事業分の平成29年度決算額は4,035万7,800円である。

**採決の結果、賛成全員にて  
原案のとおり可決**



市営卯塚墓園は平成31年度に第2期工事の実設計

委員長 ささせ 順子

副委員長 山田 けんたろう

青山 直道 田崎 あきひさ  
吉田 ひでき じんの 和子

## 農協改革に関する意見書の 提出を求める請願

### 請願要旨

国は、信用事業の農林中金等への譲渡等の改革を促している。JAグループは、今後進められる信用事業の分離誘導や、准組合員利用規制の導入によっては、JAの機能発揮が十分に行えなくなり、農業振興や地域振興に支障を来すことになりかねない。このため、信用事業譲渡及び准組合員利用規制の導入は、JAの主権者たる組合員の判断に基づき慎重に対応することについて、国に対し、意見書を提出するもの。

請願者 あいち尾東農業協同組合  
紹介議員 山田けんたろう

**Q** 政府の改革を受け入れると農協はどうなるのか。

**A** 請願者 農協の収益の大きな割合を占める信用事業の譲渡と准組合員の利用規制が行われると、個人では運営できない農業専用の共同利用施設の資金調達に支障を来すため、地域農業の活性化及び正組合員の所得向上に逆行する。

**Q** 准組合員が増加すると正組合員に影響あるのか。

**A** 組合員を対象にアンケートを実施したが、准組合員が正組合員のサービスを阻害しているという意見はない。また、農業は利益が出ない事業であり、准組合員が信用、共済、開発事業を利用することで経営が安定するため准組合員が増えることは好ましい。

**採決の結果、賛成全員にて採択**



[創政クラブ]

岡崎 つよし

**Q** 市長は今後の市政をどうあるべきと考えているか

**A** 行政主導のまちづくりから市民主体のまちづくりへと転換する取り組みを引き続き進める

**Q** 3期目出馬の意思はあるのか。

**A** 市長 時期を見て考えを申し上げたい。

## 平成31年度一般会計予算について

**Q** 財政の見通しはどのようなか。

**A** 総務部長 人口増に伴い市税の増収傾向は継続する見込みだが、それ以上に扶助費や人件費などの義務的経費のほか施設の維持管理費などの経常経費が増加し、財政全体を圧迫する見込み。

**Q** 予算編成に留意した点は何か。

**A** 第6次総合計画案と中期財政計画に留意した。中期財政計画では今後何も対策をしなければ、平成31年度から歳出超過に陥る見込みだったことから、経常経費の削減をはじめ既存事業の見直しや廃止、アクションプラン事業の実施時期の見直しなどに取り組んだ。

**Q** 今回の予算で見直しをしたり、廃止した事業は何か。

**A** 総務部次長 戦没者追悼式を平成30年度から平和事業と併せ、平和記念式典として実施、内容の見直し、経費の削減を行った。また、廃止した事業は、盆踊り報償金、飼い犬・飼い猫への避妊・去勢手術補助金等を廃止した。

**Q** アクションプラン事業の優先項目は何か。

**A** 子育て世代の人口増加の受け皿となる子育て支援施設の整備や老朽化に伴う公共施設の大規模修繕、長寿命化事業等である。

**Q** 平成32年度以降の予算編成の考え方はどのようなか。

**A** 今後も大規模事業等を予定しており、扶助費等も増加傾向であるが、既存事業の見直しや廃止、大規模事業の事業費の平準化等を含め、あらゆる面で行財政改革を推進し、将来世代への過度な負担とならないよう起債や基金の運用を行い、財源確保に努め、適正かつ健全な財政運営に努めていきたい。

関連質問 山田かずひこ議員

**Q** 中期財政計画では、財源不足が生じており、そのために事業評価を行い、事業の成果を明らかにし、今後の方向性などを整理しているが、平成31年度予算編成に生かされているか。

**A** 総務部次長 行政評価の評価結果で見直しや廃止とした事業については、必ず見直しや廃止を検討するよう伝え、平成31年度予算編成に反映した。

関連質問 青山直道議員

**Q** ふるさと寄附金は1億円以上市外に流出している。予算編成でふるさと納税をどのように考えているのか。

**A** 総務部次長 ふるさと応援活動として実際に事業名を出して、寄附をいただいた。各課連携協力して、平成31年度も具体的な事業を示していく。

**Q** 高齢者の健康づくりをどのように行っているのか

**A** 地域のサロンに運動講師を派遣し、脳と体の調和を図るコーディネーション運動を提供している

**Q** 高齢者の社会参加を推進するための方策はどのようなか。

**A** 福祉部次長 ながくて地域スマイルポイント事業を実施している。登録者の半数以上が65歳以上で市内の福祉施設でのボランティア活動や市が主催する行事等に参加している。



高齢者の社会参加を推進しているながくて地域スマイルポイント



[長久手グローバルネット]

佐野 尚人

## Q ジブリパークをまちづくりに活かすべきではないか

### A 市全体のまちづくりに必要と考える

**Q** 新たに専従で連携できるセクションが必要と考えるがどうか。

**A** 暮らし文化部長 既存の政策秘書課が担当する。

**Q** リリモテラスの機能として国際交流、大学連携、観光交流などを想定している。しかしながら、平成31年度のスケジュールも運営や設計をさらに検討したいというリリモテラス運営協議会の意向で1年先延ばしすることになった。一方でジブリパークでは来場する外国人へのおもてなしとして、通訳ボランティアや観光案内など多くの役割が想定でき、関係する団体の活躍の場も増えると考え。近くの愛知県立大学には外国語学部もあり国際交流やボランティアなどの連携も期待できる。想定している機能をより発揮するためにもリリモテラスを公園西駅につくることはできないか。

**A** 予定通り長久手古戦場駅前に整備していく。

**Q** 古民家保存事業も単独での展示保存では活用に限界がある。ジブリパークに隣接する公園西駅に移設して、ジブリ作品が描く古き日本の原風景の一部として活用していけば長久手市のジブリパークの連携の拠点にならないか。

**A** 古民家は岩作の現地で保存していく。

**Q** ござらっせやあぐりん村をジブリの世界観をまとったような改修をして、ジブリパークとパッケージした観光メニューを提案していったらどうか。

**A** ジブリパーク来場者に長久手をアピールすることを考えていきたい。

### 関連質問 なかじま和代議員

**Q** 開園に間に合うように宿泊施設が必要ではないか。

**A** 暮らし文化部長 市で取り組むつもりはないが、民間の動向を注視していく。

**Q** 民泊開業を助けるような施策が必要ではないか。

**A** 建設部長 実情把握ができていない。個人の財産のことなので干渉するつもりは無い。

### 関連質問 山田けんたろう議員

**Q** 2022年にジブリパーク開業予定である。長久手市でも外国人の観光客が増える。現状の市役所の外国人への対応は課ごとの個別対応や後日専門の通訳を介した対応である。名古屋市が導入した『AI通訳機』は74言語に対応可能で庁舎内での移動共有が可能であり、持ち出しが可能のため訪問の多い福祉関係やN-バスでも活躍が期待できる。検討してはどうか。

**A** 市長公室次長 現在、窓口試行に向け調査研究を行っている。

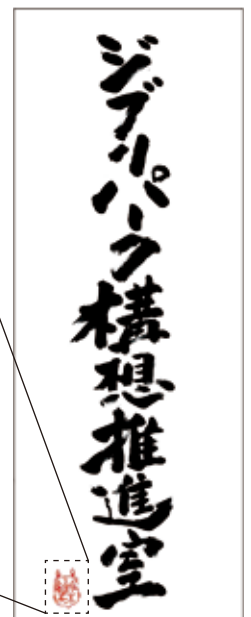
## Q 小学校でコミュニティスクールをすすめていかないか

### A 取り組んでいく

**Q** 小学校区ごとのまちづくりを進める本市として地域が運営にかかわるコミュニティスクールを進めていかないか。

**A** 教育長 地域学校協働本部を立ち上げ、長久手版コミュニティスクールの導入につなげていきたい。

鈴木敏夫プロデューサーの落款  
(拡大)



ジブリパークとの連携を進めないか



[市民ネット]  
じんの 和子

**Q** 景観計画策定はいつか

**A** 平成31年度に策定したい

**Q** 景観計画に定める項目は何か。

**A** 建設部長 景観計画の区域、良好な景観形成に関する方針、行為の制限に関する事項等である。

**Q** 景観計画区域は市全域か。項目は全市一律基準を設けず、地域ごとに考えて定める策定作業を進めないか。

**A** 現在は市全域を想定している。基準設定は、一律基準を設けず景観上の特性を考慮した区域に分け、区域毎に「良好な景観の形成に関する方針」を定めることになると考える。

**要支援者の個別計画作成のために**

**Q** 要支援者の個別計画作成を、まずモデル地区で行ったらどうか。



放課後児童クラブと放課後子ども教室が設置される北小学校多目的棟

**A** 福祉部長 モデル地区として小さな区域で市民と取り組むことは有効と考える。

**Q** 市は集会場などに出向き、災害時の助け合いや要支援者についての説明会をしないか。

**A** 災害時に助けてほしいと思っている方々が、近所にいることを市民に知ってもらうことが重要。災害時支援は、日頃の顔の見える関係があればこそ有効に機能することを理解いただく必要があり、説明会を実施したい。

**Q** 寡婦控除のみなし適用される事業は何か

**A** 保育料や児童手当支給で実施

**Q** 新年度予算は待機児童解消に努めたか。

**A** 福祉部長 平成32年に小規模保育所を1カ所開設、2歳児までの受け入れを拡充。上郷保育園の移転新築や児童クラブ室が設置される北児童館を整備し就学前児童と小学生の受け皿を大幅拡充する。

**Q** 小規模保育所の保育の質をどのように担保するのか。

**A** 今後は市による監査の実施も検討する。

**Q** 児童クラブの待機児童は解消されるのか。

**A** 南小学校や北小学校に多目的棟を整備、他の児童クラブで定員拡大をし、待機児童は発生していない。



[公明党]  
木村 さゆり

**Q** 市民主体のまちづくりの進捗状況は

**A** 浸透し始めている

**Q** 市民主体のまちづくりの進捗状況はどのようなか。

**A** 総務部長 市民主体のまちづくりは、一朝一夕には進まない取り組みであり、進捗度について具体的な数値で示すことはできないが、市政やまちに関心を持ち始めてくれている市民の皆さんから、少しずつ浸透し始めていると感じている。

**Q** 時間のかかることは理解できるが、今後の具体的なスケジュールはどのようなか。

**A** 市長公室次長 第6次総合計画の10年間は、「市民主体のまちづくり」の「種をまく」時期ととらえており、多くの市民に役割を担ってもらえるよう努力していく。地域の担い手づくりの推進・市民主体のまちづくりの



増加傾向にある不登校児童の居場所

推進として、まちづくり組織の設置・運営の支援、地域活動や市民活動を支援し人材育成に取り組んでいく。

## Q 不登校児童生徒への支援の充実は

### A 学校への復帰支援を行う

Q 不登校児童生徒への支援の充実はどのようなか。

A 教育部次長 不登校児童生徒が適応指導教室で安心して過ごせるよう、カウンセラーや心のアドバイザーを適切に配置し、相談体制の充実を図る。また、家庭にいる不登校児童生徒に対して、スクールソーシャルワーカーが中心となって、学校や関係機関との連携を図り、家庭訪問等学校への復帰に必要な支援を行いたいと考えている。

Q 教育機会確保法が平成29年2月に施行され、不登校の子どもたちが安心して学べる環境整備が求められている。本市の見解はどのようなか。

A まだまだ課題が多いことから引き続き国や県の動向を注視していく。

#### 関連質問(ささせ順子議員)

Q 不登校児童への関わり方など、大空小学校の木村元校長からのアドバイスがどう活かされているか。

A 教育長 数値化はできないが、教育現場に活かされている。



となるN-ハウスあい



[改革ながくて]  
加藤 和男

## Q 3つの課題の備えは何か

### A 「つながり」である

Q 市長の2期8年の評価はどのようなか。

A 市長 1期目から「日本一の福祉のまち」を目指してきた。「人口減少」、「高齢化」、「大災害」の3つの大きな課題に備えるため「市民主体のまちづくり」に取り組んでいる。まだまだ道半ばであり、第一歩を踏み出せたと思っている。

Q 3つの課題をどう解決していくのか。

A 3つの課題に必要なものは、「つながり」である。その第一歩があいさつや声掛けである。

## Q 市役所整備はどうするか

### A 健康スポーツ施設と一体的に整備する



健康スポーツ施設と一体的に整備予定の市役所周辺

Q 今後の予定はどのようなか。

A 総務部長 「スポーツ施設等整備計画」を来年度策定し、整備を進めていきたい。

Q 公民館や高齢者生きがいセンターなどはどう考えているか。

A 「スポーツ施設等整備計画」の策定の中で、それらを含め、全体を考えた施設整備を考えている。

Q 建設費はどう考えているか。

A 庁舎建設には多大な費用が必要である。その財源確保は大きな課題であり、他の大型事業も含め、十分検討していきたい。

Q 市役所周辺の市街化区域編入が必須と思うが、できそうか。

A 現段階では、可能かどうか愛知県から回答をもらってない。

## Q 東島2号線の完成はいつか

### A 早期完成を目指していく

Q 現状と今後の予定はどのようなか。

A 建設部長 現在、境界確定業務と物件補償調査を実施している。平成31年度は、用地交渉、道路詳細設計に着手していく。

Q 整備工事の全線完成はいつか。

A 平成32年度から交差点単位で順次工事を進め、引き続き協議会と協働して早期完成を目指していきたい。



[政策グループ ギャア]  
**大島 令子**

## 高齢者乗合タクシー実証実験について

**Q** 平成30年の実証実験検証報告では、再度行う必要と評価が出た。再実証実験の改善条件は何か。

**A 福祉部長** 台数、車種、運行期間、利用料金、対象者、運行範囲、周知期間等である。

**Q** 1人1回500円では夫婦で利用の場合往復2,000円となり、高くても利用できないという意見がある。藤が丘駅への乗り入れも含めて再検討すべきではないか。

**A** 改善検討する。

## 新設道路前熊一ノ井線の予算計上が見送られたのはなぜか

## 愛知県ジブリパーク構想の詳細を注視するためである

**Q** この道路は前熊東(IKEA)交差点渋滞緩和のため、名古屋方面へのバイパスである。県立芸術大学の敷地にかかるのか。

**A 建設部長** 影響が予想される場合は市が主体となり協議・対策を講じる。

**Q** 設計で路線案は決定するのか。

**A** 起点、終点は決定する。

**Q** 本市東部の開発は万博をはじめ国や県の事業に翻弄された。問題を抱えたのは市民である。県と積極的に交渉すべきであるがどうか。

**A** 県では関係者や機関と協議、調整する交通対策予算が計上された。本市の交通実態の実情も伝え混雑緩和の必要性を訴えていく。

## 上郷保育園設計の公募プロポーザルに専門家を入らなかった理由はなにか

## 特殊な構造ではないためである

**Q** 審査は副市長以下、部長級職員4人で行った。設計をプロポーザル方式と決定したのは誰か。

**A 福祉部次長** 市長、副市長への説明のなかで決定した。

**Q** プロポーザルにする基準は何か。

**A** 金額高による基準はない。

**Q** 審査項目に受賞実績があり、1位になった会社は3点差であった。1位の会社は市長が就任前に作った福祉施設を2棟建設しているが、審査に影響はなかったか。

**A** 受賞歴は審査時点で資料上の確認はしている。



市長が就任前に作った福祉施設2棟



**伊藤 祐司**

## 行財政改革のさらなる取り組みが必要では

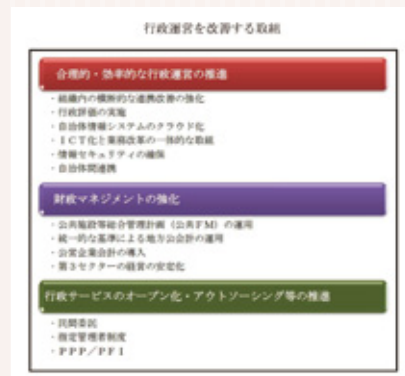
## 推進本部で決断のもと責任をもって実行する

**Q** 今の行革指針でも使用を示されている評価システムはPDCAが機能していないのではないか。

**A 副市長** チェックまではできてきたが見直し・改善までにはまだまだ課題がある。

**Q** 改革の成果指標、目標金額を示す考えはあるか。

**A** 事業を選定し、行革推進委員会の助言をいただき、庁内で成果指標について議論していく。また歳出削減も必要あるので、金額提示も検討課題としたい。



平成29年3月策定  
「長久手市行政改革指針」から

**Q** 嘱託、臨時的任用職員の損害事故を援助・補う仕組みを検討すべきでは

**A** 研究課題とする

**Q** 現状はどのようなか。

**A** 市長公室長 補償する仕組みは特にはない。

**Q** 保険加入推奨、見舞金互助制度等を検討しないか。

**A** 参考意見とする。

**Q** 豚コレラ感染の現状は

**A** 注意が必要な状況

**Q** 農作物被害防除にイノシシ駆除は欠かせない。近隣で感染イノシシが見つかった場合、狩猟禁止区域となるのか。

**A** 建設部長 許可を取れば狩猟は可能だが、防除服着用、消毒、報告義務などが発生する。長久手市鳥獣被害防止対策協議会、猟友会とも連絡を密にとりしっかり対応していく。

**Q** その必要経費の援助はあるか。

**A** 特にはないが県からの情報を共有していく。

**Q** 行政事務ICT化の促進を

**A** 重要なことと認識

**Q** 新たなシステム導入は検討されているか。

**A** 市長公室長 現時点ではないが、愛知県として県全体で新しいシステムの可否について検討していくとの情報があり、その動向を注視していく。



田崎 あきひさ

**Q** 待機児童の見込みは

**A** 48人  
(H31年4月1日現在)

**Q** 市長が就任して地方債(借金)はいくら増えるか。

**A** 福祉部長 市長就任時の平成23年度末時点は145億8,625万円であったが平成31度末の地方債残高は186億4,792万円となる見込みで、市長就任来40億6,166万円増加する。

**Q** 基金(積立金)の取り崩しはどうか。

**A** 平成31年度末の一般・特別会計及び下水道事業会計合算の基金残高は48億6,466万円。市長就任以来、30億7,200万円取り崩すこととなる。

**Q** 平成31年度は待機児童、育休退園問題は解消するのか。

**A** 保育園児の待機児童は48人で育休退園も発生する見込みである。

**杖ヶ池体育館休館時の農村環境改善センターの利用確保を**

**Q** 杖ヶ池体育館のフロア改修が11月から始まり使用不可となる。スポーツ環境確保のため上郷保育園

新設の計画が遅れないように配慮しつつ、農村環境改善センターの利用できるよう求めるがどうか。

**A** 福祉部次長 調整し活用していただける予定である。

**Q** 適応指導教室の施設拡充の必要性の認識はどうか

**A** 必要性がある

**Q** 適応指導教室「N-ハウスあい」は本市の不登校児童生徒支援の重要拠点である。利用傾向はどのようなか。

**A** 教育長 平成28年度は14人であったが、平成30年度は小学生11人、中学生21人、合計32人で増加傾向である。

**Q** 実態調査をしているか。

**A** これまで学校現場とスクールソーシャルワーカーとの早期の情報共有に課題があった。今年度から週1回生徒指導部会に出席したり学校訪問したり情報収集を行い、不登校傾向児童の早期発見に努めている。

**Q** 施設の機能充実はもとより、施設のキャパシティー拡充、環境改善が急務である。必要性の認識はどうか。

**A** 教育長 施設の広さ、指導者の人数の面で充実させていく必要がある。



拡充の必要とアクセスの課題がある適応指導教室



ささせ 順子

**Q** 台風時の避難所開設情報を市民にどう周知したか

**A** ホームページと安心メールで周知した

**Q** 避難所開設情報を知らない独居高齢者が複数いた。命に関わるため、正確・迅速・公平な情報提供が必要だがどう考えるか。

**A** 危機管理監 周知要領を検討する。

**Q** 室内や地下でも鮮明な音を受信する280MHz同報無線と防災ラジオを導入しないか。

**A** 他の伝達手段も含め、早急に確立する必要がある。

## 外出促進と移動支援について

**Q** N-バスの路線再編に向けて、市民の意見をどう集約するのか。

**A** 暮らし文化部長 平成31年度に市民の意見を伺う場を設け、利用実態調査を実施する予定。

**Q** 高齢者の利用が多いバス停を、医療機関や商業施設の近くに移設したり、雨よけシェルターやベンチの設置を検討しないか。

**A** 検討課題と考えている。

**Q** N-タクに免許証返納者や妊婦、

乳幼児連れ、多胎児などの交通弱者を支援する役割を持たせるか。

**A** 福祉部長 平成31年度の実証実験で、運行条件やN-バスとの役割分担を整理する。

**Q** N-タクの料金を安く見直さないか。

**A** 既存の公共交通機関に影響がないよう検討する。

**Q** 竹林の駆除に補助制度を設けないか

**A** 設ける予定はない

**Q** 管理放棄された竹林の拡大状況を把握しているか。

**A** 建設部長 手入れが行き届かない竹林が年々、増加していると認識している。

**Q** 管理放棄された竹林を地域課題として考えた時、市に協力を頼めないか。

**A** 副市長 所有者不在の土地問題は新たな課題と捉えている。個人ではなく、複数の市民や地域から「竹林を何とかしたい」と提案があれば、制度化されていないが解決の糸口を探す手伝いをしたい。たくさんの方が「こんな地域にしたい」という思いで継続的なまちづくりに関わる機会になると考える。



市民団体によって伐採が行われた香流川護岸の竹林



山田 かずひこ

**Q** 子どもの権利条例の必要性についてどのように考えているのか

**A** 「子ども・子育て支援事業計画」に基づき施策を実施しているため考えていない

**Q** 少子高齢化が進む中、子どもたちを大切にするまちづくりを目指し、子どもの権利を市民みんなで考え、子どもの権利条例を制定し、子どもたちを守っていかないか。

**A** 市長 子どもたち自らも参加させ、市民みんなで時間をかけて作っていききたい。

**Q** 不登校児童でN-ハウスあいにも行けていない生徒は何人いるのか。

**A** 教育部次長 平成30年度現時点で、小学生8人、中学生31人である。

**Q** 家庭においては虐待の問題、学校においてはいじめ、体罰の問題があり、子どもたちの居場所が必要となってくる。子どもたちに食卓を囲む楽しさを教える「子ども食堂」を地域共生ステーションでできないか。

**A** 暮らし文化部長 西小学校校区、市が洞小学校校区の共生ステー



ションには、キッチンが整備されているので、空いていれば可能である。

**Q** 地域猫ボランティア団体の活動を広報などを使って市民に周知しないか

**A** 周知に協力していく

**Q** 「飼い主のいない猫」対策としてこれまで行ってきた取り組みはどのようなか。

**A** 暮らし文化部長 「飼い主のいない猫」を増やさないために、避妊、去勢手術費用の助成制度を本年度から設けている。また、猫の譲渡会開催を支援している。

**Q** 景観条例で中高層マンション建設の高さを制限できないか

**A** 制限はできない

**Q** 屋外広告物の規制はできないか。

**A** 建設部次長 景観計画の形成に関する方針に沿った指導をしていく。



子どもから大人まで地域の交流の場として利用されている「子ども食堂」



山田 けんたろう

**Q** 平成31年度のN-タクは

**A** 平成30年度の条件を見直し行う

**Q** 平成31年度予算ではN-タクにモニター制度報奨金が計上されている。この制度は本来の需要と異なる結果となるのではないか。

**A** 福祉部次長 早急に専門家と協議し制度設計を考える。

**Q** N-タクの目的を高齢者の外出促進とするならば、先に外出の目的を創出すべきである。赤あつたかあどの利便性拡大や格上げを行い、高齢者や身体の不自由な方が市内の店での買い物や移動等で気軽に簡単に利用できような仕組みを作らないか。

**A** 外出の目的を増やすように努力する。

**Q** N-バスに拠点巡回型基幹路線を設け、その他の地域を補完する役割をN-タクに持たせないか。

**A** 暮らし文化部次長 今後、市の公共交通全体の在り方として検討していく。

**Q** 現在は運転免許証自主返納者へマナカチャージ券を交付し、高齢者外出促進事業でもマナカチャージ券交付しているがN-タクのタグシートも選べるようにしないか。

**A** 福祉部次長 今後見直す必要がある。

## 防犯力について

**Q** 新たな交番の設置はどのようなか。

**A** 暮らし文化部長 愛知県の平成31年度予算に実施設計業務費が計上されている。

## 防災力について

**Q** 市民の行う避難所運営訓練を支援しないか。

**A** 暮らし文化部長 支援する。

**Q** 愛知県や尾三消防組合に対し、三ヶ峯地域への消防署、出張所の配署の要望をしないか。

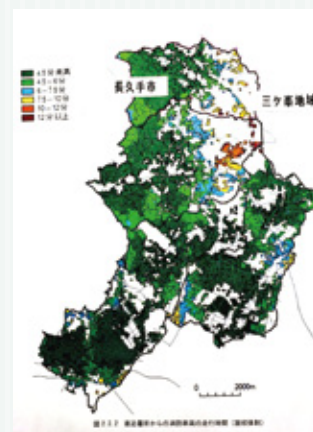
**A** 危機管理監 市から強く要望する。

**Q** 市のYouTubeチャンネルを作らないか

**A** 調査研究する

**Q** 市の情報を市民協働で発信するFM局を開設しないか。

**A** 暮らし文化部長 市民と協働で発信する仕組み作りは必要と考える。



尾三消防組合消防力整備計画  
消防力適正配置等調査結果より



吉田 ひでき

**Q** 平成30年度の「施政方針」は市民に伝わったと思うか

**A** 市民に伝わったか分からない

**Q** 市長「施政方針」は、年度を重ねるごとに市民に分かりづらく「市民お任せ方針」となってきたと苦情がある。長久手に住んでいる子どもから高齢者まで、どんな人でも分かるように表現することも必要である。市民の力を本当に借りたいのであれば、その努力が市長と市長公室に必要と思うがそう思わないか。

**A** 市長公室長 市長は目指す市政について、行事のあいさつや市広報「いっぷく」、市ホームページ「によぜがもん」等を使い発信している。



長久手のまちづくりは皆さんの夢と力で進められます

**Q** 施政方針「長久手市みんなでつくるまち条例」を市役所職員が読み解けていないと心配する。平成31年度「施政方針」内にも書き込まれているが「絵に描いたもち」にならないか。

**A** 「長久手市みんなでつくるまち条例」の目的を達成するために、職員が条例を意識し、行動に落とし込んでいく必要があると考えている。

**Q** 「これまで市は、制度にのっとり、市民の要求に応じてきたが、行政の力だけでは、それができなくなる時代が到来します。」とある。現状では、どこまで市民の要求に応じているか。

**A** 現状は、制度で対応できるものについては、制度にのっとり対応している。制度の狭間や問題が複合化することで、既存の制度では対応しきれないことが今後ますます増えることが予想されることから、そのように表現している。

**Q** 「長久手市みんなでつくるまち条例」同様、平成31年度「施政方針」を市の職員が読み解けてなければ、ただの議場儀式に近いが、職員は理解できているか。

**A** 市の目指す方向について、幹部職員と共有する機会を設けていることから、理解していると認識している。



なかじま 和代

**Q** 生後2カ月からの保育が安全に実施できるようにどうするのか

**A** 保育環境を分け 看護師を配置する

**Q** 認可外保育施設通所助成制度の利用も生後2カ月からにしないか。

**A** 福祉部次長 制度設計していきたい。

**Q** 平成31年度予算の保育園への看護師配置はどのような業務を担うのか。

**A** 医療的ケアを必要とする児童2人の対応と、それ以外に保護者、保育士に対し園児の健康相談を行ったり、園児の体調管理を行う。

**Q** 新天皇即位に伴う10連休は保育園を開園するべきではないか。

**A** 休日保育実施園では従来通り開園する。他園は考えていない。

## 上郷保育園移転新築時の自園調理について

**Q** 地元の野菜が使えるよう給食生産者会の基準を見直さないか。

**A** 福祉部長 対応は未定である。

**Q** 学校教育の目的は何か

**A** 社会で生きていく力を身につけること

**Q** 公立の学校は、地域の子どもが安心して「明日も行きたいな」と思え通える必要がある。不登校児の支援は校外の適応指導教室を充実させるのではなく、学校が安全な場所になるべきではないか。

**A** 教育部長 適応指導教室は学びの機会の保障、学校と家庭の橋渡しの場である。個々の児童生徒を支援できる体制をつくっていききたい。

**Q** 長久手市教育振興基本計画に「わが国と郷土を愛する」ことを明記できないか。

**A** たくさんの施策があるため、あえて書いていない。

**Q** いじめアンケートを今後どうするのか。

**A** 今後も実施する。

## 市役所の情報通信技術 (ICT) 活用

**Q** 新たな技術の活用による業務効率化が必要ではないか。

**A** 市長公室長 導入を検討し、計画的に進める。



「当たり前」を見直し  
「学校本来の目的」を明確にした  
公立中学校長の実践



林 みすず

**Q** 施政方針にある「人口減少」は政治的な要因が大きいのではないか

**A** 就職氷河期や経済的な理由で生涯未婚率が徐々に上昇した

**Q** 「人口減少」「高齢化」「大災害」の課題に市民が主体的に行動するということが。

**A** 副市長 虐待などの家庭内の問題や個人の財産の所有権など法のもと自治体が関与できないことが多い。それを地域の問題として取り上げるなら自治体が介入できるので、地域で主体的に取り組んでほしい。

**Q** 県の子どもの貧困調査では、尾張東部地域の貧困率は4.1%とあるが、結果を共有できないか。

**A** 福祉部次長 県に要請したが結果を貰えない。

**Q** 20歳未満の国保被保険者数に対する特別調整金はいくらか

**A** 401万円である

**Q** 特別調整金は使徒の規制はない。18歳未満の子どもの国保税均等割の軽減に使うことを検討したか。

**A** 福祉部次長 していない。

**Q** 小中学生の通学荷物の軽減(置き勉)の進捗状況は

**A** 各校実態に応じた対応をしている

**Q** 保護者から「早く実施してほしい」との声が届いた。各校の取り組み状況を公開できないか。

**A** 教育部次長 中学校は生徒が判断し、全校で実施している。小学校は主に習字用具や絵の具セットなどを対象としているが、状況を見ながら進める。

## 市民のマイナンバーへの間に正しく答えているか

**Q** 「マイナンバーを記載しないと選挙立会人の報酬を払えないと言われた。」との相談があったが事実か。

**A** 総務部長 認識不足であった。記載がなくても支払う。

平成年度	29年	30年	31年	32年	33年	34年	
所得割	%	6.3	7.17	8.14	9.11	10.8	11.04
均等割	1人(円)	28,000	31,500	35,500	39,500	43,500	47,000
平等割	1世帯(円)	28,500	28,400	29,000	29,600	30,200	30,800
保険税額	負担額	89,240	92,229	98,692	105,135	111,632	118,304
値上げ率	対前年(%)	0	3.3	7.0	6.5	6.2	6.0

長久手市の国保税引き上げ計画(案)



さとう ゆみ

**Q** 公園西の環境配慮型まちづくりは当初の計画どおり進んでいないのではないかと

**A** 公共空間の太陽光発電はできていない

**Q** 「公園西駅周辺環境配慮型まちづくり整備計画」では「本地区全体でCO2(二酸化炭素)を30%削減する」と掲げているが、この先達成できる見込みか。

**A** 建設部長 今後は緑化だけでなく、電気自動車の利用促進のためにEV充電ステーションの導入を考えており、より多くのCO2が削減できるように努力していく。

**Q** 「環境配慮型住宅ガイドライン」を策定し「敷地の10%を緑化」と定めているが、2割程度しか守られていないのでは、効果があるのか。

**A** 確認を徹底していきたい。

**Q** 特定天井のある公共施設はいくつあるか

**A** 5カ所である

**Q** 文化の家の大規模改修で、地震や経年劣化で脱落する危険がある特定天井があると把握しながら改修しなかったのはなぜか。

**A** 総務部長 多額の費用がかかり、工事期間が長期化するため、市全体の特定天井対象施設の改修計画を定めてから取り組むことにした。

**市長2期目のまちづくりの進行状況は**

**Q** 「まちづくり協議会の設立、地域共生ステーションの整備は全小学校区で平成31年度完了」としていたが、まだできていないことをどう感じているか。

**A** 市長 地域それぞれ違うので、遅くなくても市民にしっかり話し込んでもらいたい。

**リプロダクティブヘルス/ライツの推進を**

**Q** 中学校での「命の学習講座」は、性暴力、DVが人権侵害であるとの認識を持てる内容か。

**A** 教育部長 相手を思いやること、人格を尊重することを学べる内容となっている。



市施行で進められている公園西駅周辺土地区画整理事業

**意見書を国へ提出**

くらし建設委員会から「プラスチックごみの削減に向けた対策を求める意見書」案が提出され、可決しました。

意見書は、国が作成したプラスチック資源循環戦略の素案に記載された目標達成に向けて、国民レベルの分別協力体制の更なる推進と、国内で優れたリサイクル技術やシステムの向上に努める企業への支援を求めるものです。

**提言書を市へ提出**

**エコチャレンジデー設置についての提言**  
～くらし建設委員会～

「エコチャレンジデー」を設けて環境保全活動への働きかけを市民協働で取り組むよう求めるものです。具体的な取り組みとしては①CO2削減「見える化」活動推進の充実②エコ通勤・エコ外出(徒歩、自転車、公共交通機関及び相乗り)の促進と強化ウィーク・ノーマイカーチャレンジデーの設定③レジ袋お断り・リフューズ(断る)の取り組み強化です。

**ふるさと納税についての提言**  
～総務委員会～

ふるさと納税制度により市の減収が続いているため、体制を整え積極的な展開を求めるものです。具体的な取り組みとしては①事業の充実をはかるため、ふるさと納税の担当職員を配置すること②特色があり、分かりやすい施策をたて、納税者の共感を呼ぶこと③魅力ある返礼品の発掘をすることです。

# 平成31年 3月定例会 議案等審議状況

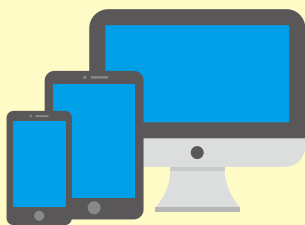
※議長 川合保生は採決に加わらない。○は賛成 ×は反対  
 ※上田大議員は2月28日付け議員辞職のため一部採決のみ出席

提案者	議案名	審議結果	上田	林	なか	山	大	さ	木	山	青	佐	田	吉	さ	じ	岡	伊	加	
			大	み	じ	田	島	さ	村	田	山	野	崎	田	と	の	崎	藤	藤	
	平成31年度一般会計予算	可決	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成31年度国民健康保険特別会計予算	可決	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成31年度土地取得特別会計予算	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成31年度介護保険特別会計予算	可決	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成31年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成31年度卯塚墓園事業特別会計予算	可決	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成31年度公園西駅周辺土地地区画整理事業特別会計予算	可決	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成31年度下水道事業会計予算	可決	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度一般会計補正予算(第7号)	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度卯塚墓園事業特別会計補正予算(第1号)	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度公園西駅周辺土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	卯塚墓園事業基金の設置及び管理に関する条例の制定	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	長久手小学校亜炭鉱空洞充填工事請負契約の変更	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	北小学校空調設備整備工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	南小学校空調設備整備工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市が洞小学校空調設備整備工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	南中学校空調設備整備工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第6次総合計画基本構想	可決	-	×	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○	○	○
	愛知県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び愛知県市町村職員退職手当組合同約の変更	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市道路線の廃止	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市道路線の認定	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	固定資産評価審査委員会の委員の選任	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	公平委員会の委員の選任	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	固定資産評価員の選任	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願者 議員	農協改革に関する意見書の提出を求める請願	採択	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	市議会委員会に関する条例の一部を改正する条例	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	プラスチックごみの削減に向けた対策を求める意見書の提出	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	農協改革に関する意見書の提出	可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議 会 傍 聴 記

愛知県立大学 外国語学部 2年 仙石摩子

春季議員インターンシップ活動の一環として、議会の傍聴をしました。午前から夕方まで、長久手の市政に関するさまざまな議題についての審議が行われる様子は、まちづくりの最前線のように感じました。大学の進学とともに初めて長久手市を訪れたとき、住宅や大きな施設が建ち並ぶ中にも緑がたくさんあり、豊かで居心地の良いまちだと思いました。そんな長久手市のまちづくりが進められている現場の一部を見られたことはとても貴重な経験であり、今後の活動に活かしていきたいです。



市議会一般質問の録画映像を  
インターネット配信中



閲覧場所 長久手市議会ホームページ

<http://www.city.nagakute.lg.jp/gikai/>

長久手市議会

検索



6月定例会開催予定

(令和元年6月13日～7月5日/23日間)

6月定例会への請願、陳情の提出締切日は  
6月4日(火)正午です。

月 日	曜日	開始時間	摘 要
6月13日	木	午前10時	本会議 議案(上程、説明)
6月14日	金	午前10時	本会議 議案(質疑、付託)
6月17日	月	午前9時30分	本会議 一般質問
6月18日	火	午前9時30分	本会議 一般質問
6月19日	水	午前9時30分	本会議 一般質問 散会后 予算決算委員会
6月24日	月	午前9時30分	常任委員会

月 日	曜日	開始時間	摘 要
6月25日	火	午前9時30分	常任委員会
6月26日	水	午前9時30分	常任委員会
6月27日	木	午前9時30分	常任委員会
7月1日	月	午前9時30分	予算決算委員会
7月3日	水	午前10時	議会運営委員会
7月5日	金	午前10時	本会議 議案(討論採決)

編集後記

市議会では議会改革を進め、「議会だより」も市民に分かりやすく情報をお伝えできるよう紙面を工夫してきました。議会報告会の参加者が少ない、議会の情報を十分お届けできていないなど課題もありました。

私たち議員は「平成」と共に任期を終え、「令和」と共に市議会の新体制でスタートします。

青山直道

編集特別委員

委員長 さとう ゆみ

木村 さゆり 青山 直道 佐野 尚人  
田崎 あきひさ 加藤 和男